

あたらしいものへ

K · S

——國民幼稚園のことなり——

新らしい、云ふことは何かうれしい氣持を誘ふ。希望を起させます。

同じ場所にあり、同じ仕事の中にある、常に新らしい氣持を失はない云ふことは、難しいことだと思ひます。新しく稚い保母が、子供の勢におされ氣味ながら、眞剣に新しい仕事の世界の扉を明けて這入らうとする姿は美しく、

自分もその頃を考へ合せて、十年近くも過ぎた今の、さかく情性に流れ易い毎日に情ない思ひがして、新しいものは總べて美しく力強い様な氣になつてしまつたり致します。しかし新しいものは單に新しい爲によいのではなく、新しさからくる新鮮さ、新しさが與へるいきいきした生活意慾が尊いのでせう。古さからくる豊かさに、この新鮮さを加へたものを、子供らとの毎日に充分用意して置き度いものと思ひます。

新しさ、云へば、この頃の毎日の新聞にこの新しい云ふ字の何と多いことせう。何か新しいものがやつて來

る云ふことを、國民の誰もが豫想し、期待してゐるのを感じます。

近衛内閣が生れて、あらゆる方面に新政治體制が布かれ様としてゐます。政治云へば政黨の動きのみ考へられた今迄と異つて、八百屋も、魚屋も、裏通りのおかみさん迄が政治云ふものに身近なものを感じはじめたに相違ありません。私自身も、これ迄にない關心を持たずにはゐられなくなりました。そしてそれは、子供らへの教育と政治や國家云ふものへの密接なつながりをも考へさせずには置かないのです。又それは、勢ひ幼児教育の國家的重要性をも確認させてくれます。

教學の刷新がさげばれて第一に國民學校案が具體化し、いよゝ、明年度から實施される云ふことになりました。私も隣家の小火位には少々うらたへる氣持にもなり、ほんやりしても居られない氣持にもなりました。小學校の教育に新しいものがやつて來るまで、たしかに私達はぼんや

りしてゐることは出来ない氣持でした。しかし小學校の先生達でさへまだよくのみ込めない様なわけですから私がのみ込めなかつたのは勿論でした。そこへ文部省の夏季講習です。まづはせ參じて、倉橋先生のお話を承りました。そして、喜び、安心し、不安になり、希望をもつて歸りました。國民學校に於ての方法の強調點は今迄幼稚園でして来たこと、幼稚園では理論根據こそ異なれ今迄立派にやつてゐたことだつたし(果してやつてゐた幼稚園ばかりは云へないのは残念だが)その教授の方針に至つては、倉橋先生が、これも、これもその都度扇子をテーブルにトントンおたつきになつた通りに全く幼稚園でこれ迄試験済みのことばかり、私は少々此處で喜び安堵したのでした。

小學校の低學年の授業は云ふものが幼稚園との間に大きなギャップを持つてゐたことは明らかです。そして幼稚園は小學校とは、倉橋先生の仰云つた様に、全く偶然的關係でさへあつたのでした。低學年に今迄決して許さなかつた統合教授がゆるされ、學科を主にした抽象的分科的な主智的教授が、國民鍊成の一途に歸せしむるは云ふ方向の下に具體的に非分化的になされることは、日本の子供らへの大きな福音であると共に、幼稚園と小學校との聯絡にも全く喜ばしいものがやつて來たことを感じて嬉しくなりました。

それにつけても、幼稚園が今迄の保育形態に於て既にそれをなして居たこと云ふことで安心してよいでせうか。否、大いに否は云はねばなりません。國民鍊成の國家機關としての幼稚園として、更に新しい出發をしなくてはならぬものがたくさんあるだらうと思ひます。實際の方法に於て國民學校の方法を既になして居たこと云ひながら、その心に於て忘れてゐるものがあつたら佛つくつて魂入れずになつてしまひます。國民幼稚園！倉橋先生の教へて下さつたこの名稱は、國民學校の言葉の上でも近きを覺えさせてうれいものです。フレーベル先生が、一人一人の子供の中にある人間的自發性から育て上げたあの幼稚園にも、國家教育者としてのフレーベルを再認識出來、そのドイッチェーキングダーガルテンに云ふ名にも國家意識を認めることが出来るは倉橋先生が云はれた様であつたけれど、皇國のをさなご達を育て上げる我國の幼稚園には、日本でなくては持つことのない「日本の國民幼稚園」を私達はこしらへ上げたいものです。

それにしても、子供は何處でも、何時になつても子供です。新體制の波があらゆる方面に及んでもお伽噺を面白がり、鬼ごつこを喜び、時に喧嘩をすることに變りはありません。全體主義を誤つて一齊保育主義になつても困るし、個人主義は絶対に排しても個性的であることはあく迄必要

なことを思ひます。國家的であることは望んでも鎖國主義を教へたくはありません。

國民の基礎的鍊成をするに、興國の道を修得せしめるに、難しい言葉をばかり頂戴するに、幼い子供を前にして少しまご／＼してしまひさうなのですが、とにかく實際の子供の生活に於て、保姆自身が今の時局を認識し、明瞭な國家意識を持つて、眞劍に進んで行くのでなくてはならないのでせう。

國民學校に於ても、制度や内容よりも、最も根本的な問題は教育者に人を得ることであり、教育者の資質向上であることも云はれてゐますが幼稚園に於ても随分それは重要な問題と思ひます。教育の刷新が、これ迄になく國策上の重要問題として取り上げられてゐる今、この機をはづさず、制度も内容も共に幼児教育界を充實させなければなりません。それについても保姆の一人一人がその方面に迄意を用ひる様になり度いものと思ひます。保育所令も出來、幼稚園令も、より完全なものになり（これはひゞつのものになつてもよいのではないかと私は考へるのですが）保姆の養成機關もうんご充實させて頂き度いものです。一ヶ年位では通りいつべんになり易く、これでは國民鍊成もなか／＼容易ではありません。厚生省邊りの乳幼児保健運動と共に、さん／＼よい保姆をこしらへることにです。云つて、もう

出來てしまつた（申ししても私等半分程でせうか）経験者である私達も適當な方法で大いに再教育をして頂かないと、國民學校にせつかくよい連絡を持つ様になりながら幼稚園がおいできばりをされてしまはないとも限りません。

子供らに幾年か一緒にあつて、時々私は指導精神（子供のではなしに自分自身の）を失ひかけては狼狽し、自信を失ひかけたりしました。

ある時は教育學的な取り扱ひにのみ満足し、ある時は文化への高さをのみあてにしました。しかし今、歐洲の雲は飛行機の爆音にまばされ、今迄の所謂文化は崩れて行かうとしてゐます。自由主義の衣に裝飾の様にいつてゐた文化は勿論塵埃の様にまび散つて行くでせう。それ以上の高いもの、より深いものを、私達は、見出して、そこへ子供を引き上げ、引き延ばし、次代の光りを彼等が放つことの爲に、私達の血を肉を魂をすりへらすことに、日日新鮮な努力を惜しまないで行き度いものゝ切に願つて居ります。